


受理年月日	平成26年7月9日	所管委員会	第1委員会
番号	26年 陳情 第12号		
件名	外国人在留資格の規制緩和を行わないことについて		
陳情者	 福岡の教育を考える会 代表 守口 竜		
分割送付	第2委員会 (26年第13号)、第3委員会 (26年第14号)		
要旨	<p>本市が国と進めている創業特区について多くの問題が指摘されています。私たちもその内容を見て驚愕しました。労働者いじめと外国人優遇のオンパレードだったからです。どうしてこのようなものになったのでしょうか。一近隣住民として憂慮します。</p> <p>自民党政権に復帰したら今度は、違う形で外国人優遇措置を行うと安倍首相が宣言。その一つが国家戦略特区、本市の創業特区です。創業というより「解雇」特区と呼んだほうが正しいかもしれません。第2次安倍政権で進められる政策には、保守の理念から考えても首をかしげるものが多く存在します。その一つが労働規制緩和です。</p> <p>労働規制緩和は、かえって雇用悪化を生み、ニート（無業者）などをふやすだけです。そのことにかかるコストのほうが深刻です。そして、生活保護はネットで「ナマポ」と呼ばれていますが、パチンコや飲酒などに使うことを否定的に見る向きもありますが、パチンコやお酒などが、受給者のガス抜きになるのは一概に悪いとは言えないとも思います。それを監視する通報制度を本市は設けましたが、これはやりすぎです。即時中止を。就業を促す取り組みこそ必要で、不足するケースワーカーの増員などをやるべきなのです。</p> <p>むしろ、懸念するのは国の動きであり、産業競争力会議などの民間議員や財界特に日本経団連とグローバル企業（国際金融資本）の思惑によって、戦後築き上げた我が国のシステムや文化慣習が破壊され、国益が損なわれることはあってはなりません。</p> <p>二元代表である市議会が首長である高島市長に強く申し入れていただき、行き過ぎた改革を再考するようお願いします。</p> <p>問題点が少なくない特区構想は、今からでも遅くありません。撤回していただくことを市議会に要望するものです。</p> <p>よって、以下の事項を陳情します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人在留資格の緩和ではなく、規制強化を進めること。 		

福岡市の弱者切捨て政策の撤回を求める陳情

平成 26 年 7 月 9 日

福岡市議会議長
森 英鷹 殿

福岡の教育を考える会 代表
守口 竜

1、陳情事項

○生活保護ホットラインなど弱者切捨てをやめ、外国人在留資格の緩和や労働規制緩和ではなく、規制強化を進めていただきたい

2、理由

福岡市が国と進めている創業特区について多くの問題が指摘されています。私たちもその内容を見て驚愕しました。労働者いじめと外国人優遇のオンパレードだったからです。どうしてこのようなものになったのでしょうか。一近隣住民として憂慮します。

自民党政権に復帰したら今度は、違う形で外国人優遇措置を行うと安倍首相が宣言。そのひとつが国家戦略特区、わが市の創業特区です。創業というより「解雇」特区と呼んだほうが正しいかもしれません。第2次安倍政権で進められる政策には、保守の理念から考えても首をかしげるものが多く存在します。そのひとつが労働規制緩和です。

労働規制緩和は、かえって雇用悪化を生み、ニート（無業者）などを増やすだけです。そのことにかかるコストのほうが深刻です。そして、生活保護はネットで「ナマポ」と呼ばれていますが、パチンコや飲酒などに使うことを否定的にみる向きもありますが、パチンコやお酒などが、受給者のガス抜きになるのは一概に悪いとはいえないとも思います。それを監視する通報制度を福岡市は設けましたが、これはやりすぎです。即時中止を。就業を促す取り組みこそ必要で、不足するケースワーカーの増員などをやるべきなのです。

むしろ、懸念するのは国の動きであり、産業競争力会議などの民間議員や財界とくに日本経団連とグローバル企業（国際金融資本）の思惑によって、戦後築き上げたわが国のシステムや文化慣習が破壊され、国益が損なわれることはあってはなりません。

二元代表である市議会が首長である高島市長に強く申し入れていただき、行き過ぎた改革を再考するようお願いいたします。

問題点が少なくない特区構想は、今からでも遅くありません。撤回していただくことを市議会に要望するものです。

